



<前提条件>

- ・長期脱炭素電源オークション、サポライティン支援等の制度適用を通じた、適切な投資回収及び事業性の確保
- ・脱炭素化のための技術開発の実現、実証試験の成功
- ・e-methaneでのリプレイス/改修が長期脱炭素電源オークションの応札対象
- ・脱炭素化のために、金融機関から資金調達ができること
- ・10%以上混焼の運転開始時期は、サポライティン支援等の制度適用を踏まえた水素/e-methane製造等の技術開発や事業の進捗を考慮して決定
- ・混焼開始時におけるブルー水素の利用については、サポライティン支援等の制度適用やCCSの開発状況を踏まえて決定
- ・2040年代のブルー/グリーン水素の利用は、経済性や炭素価格等を踏まえて総合的に判断